

「養殖業成長産業化提案公募型実証事業」
国内ブリ類・マダイ・マグロ用ワクチン
(イリドウイルス、 α 溶血性レンサ球菌症)の開発・改良
共立製薬株式会社／令和4年11月～令和7年10月

実証事業の背景

- 戦略的養殖品目であるブリ、マダイ、クロマグロは、イリドウイルス病及び α 溶血性レンサ球菌症による感染症の被害を受けている。
 - イリドウイルス病は抗菌剤による治療が不可能。
 - α 溶血性レンサ球菌症はAMR対策としての抗菌剤に頼らない対策が優先課題、新たな血清型も出現。
- これらの疾病を抑えるワクチンの開発と改良を実施

実証事業の目標・事業成果

1. クロマグロ用イリドウイルス病、レンサ球菌症ワクチンの開発
2. ブリ類用レンサ球菌症ワクチン、イリドウイルスワクチン開発・改良
3. マダイ用イリドウイルスワクチンの改良

動物用医薬品としての承認申請に必要なデータの取りまとめ



農林水産大臣に対するワクチンの承認申請

【成果】

- ①ブリ属用Ⅰ型・Ⅱ型・Ⅲ型レンサ球菌を含んだ3混ワクチン
「ピシバック注レンサ α 3oil」を製品化(R7年度販売開始)
https://www.kyoritsuseiyaku.co.jp/products/detail/product_20227.html
- ②クロマグロ用ワクチンは2施設での野外試験で良好な成績(継続中)
- ③マダイ用・ブリ用イリドウイルス抗原も改良検討は良好(継続中)
- ④ブリ用Ⅱ型レンサワクチンの改良検討も良好な成績(継続中)

①の製品化により当該疾病の発生防止に寄与している。更に、継続検討中の改善課題も良好な進捗が得られており実用化予定。